

大阪南医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] 現状の認定看護師の介入に関する実態調査～認定看護師間のよりよい連携に向けた取り組み～

[研究責任者] 緩和ケア推進室 小林 久希

[研究の背景]

現在、当院の認定看護師（以下 CN）、専門看護師（以下 CNS）は、専門的な知識や技術を持ち、個々や所属チームでの活動を行っています。各 CN は、主に個々の情報収集、臨床からの情報発信や相談をもとに介入を行い、他分野の CN の介入が必要と感じた場合は CN 間で連携しています。個々に行う情報収集やスクリーニング、臨床からの報告だけでは得られる情報に限界があり、CN が介入すべき患者様を早期に把握することが困難となっていることがあります。また、緊急入院を要する患者様は、様々なリスクを抱えており、入院時より専門的な看護が必要と考えられます。

今回、救急トリアージの記録から、CN の介入が必要な患者様において、必要な情報や条件、それらの適切なタイミングを明らかにし、救急トリアージ後に入院した患者に、複数分野の CN が介入した条件に関して実態調査を行い、今後の CN 間の連携と患者への早期介入に活かしたいと考えます。

[研究の目的]

当院における緊急救急トリアージリストから、複数の CN が介入した入院患者様の実態調査を行い、複数分野の CN が介入した条件を明らかにします。

[研究の方法]

- 対象となる患者様：2019年4月1日～2019年9月30日の救急トリアージを受けた患者様
- 研究期間：2019年11月1日～2023年5月31日
- 利用する検体、カルテ情報
カルテ情報：年齢、性別、身体所見、熱計表、血液検査結果、診療録、看護記録等
- 情報の管理

情報は厳重に管理し、当院のみで利用します。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、本研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。この研究で取り扱う情報は、当院の研究責任者である小林 久希が責任をもって適切に管理いたします。

[問い合わせ先]

国立病院機構大阪南医療センター 緩和ケア推進室 小林 久希
電話 0721-53-5761 FAX 0721-53-8904